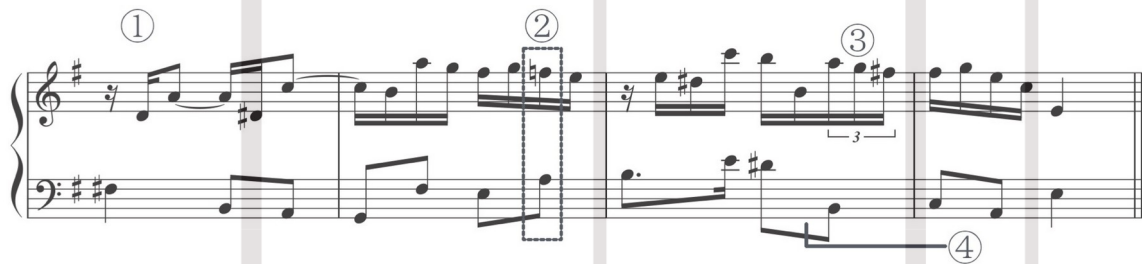


1. 単旋律聴音課題



- ①ドッペルドミナント…4小節目の半終止に向けてドッペルドミナントが使用されています。
①の減7度の音程が、a moll のドミナントであることを示しています。
- ②音数の多い旋律…難易度の高い課題では、細かいリズムを伴った音数の多い旋律が課されることがあり、拍点や裏拍など、認識しやすい箇所の音から旋律の骨組みを捉えて記譜する必要があります。リズム課題と併せて練習すると効果的です。
- ③リズム…3 2分音符など、非常に細かい音が登場するのも、こういった課題の特徴です。

2. 複旋律聴音課題



- ①リズム…複旋律課題にも細かく複雑な旋律が課されます。
- ②ナポリの6…Fの音がナチュラルになることでナポリの6の和声となっています。
- ③リズム…16分音符による3連符もしっかりと捉えましょう。
- ④終止形…バスの属音が第6音のCに進行し偽終止となっています。

3. 和声聴音課題



- ①、②属九の和音…属九の和音の第2転回形の進行です。
- ③減五短七の和音…Dにbがつくことで同主短調からサブドミナントを借用しています。
- ④非和声音…本来、アルトのDは導音であるべきですが、あえて導音を使用せず、ドミナントの機能性を和らげています。